

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ホテル観光学科 ホテルコース ホテルフロントコース テーマパークホテルコース レストラン&バーテンダーコース	夜・通信	1,335 時間	80×2= 160 時間	
	ホテル観光学科 ウェディングコース ウェディングプランナーコース ドレススタイリストコース	夜・通信	750 時間	80×2= 160 時間	
	ホテル観光学科 鉄道・交通コース	夜・通信	1,035 時間	80×2= 160	
	ホテル観光学科 トラベルコース ツアーコンタクターコース トラベルカウンターコース ツアープランナーコース	夜・通信	825 時間	80×2= 160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて授業科目一覧を公開 URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2025.5.29～4年 以内に終了する 会計年度のうち最 終のものに関する 定時評議員会の 終結の時まで	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システ ム開発・印刷関連企業 代表	2025.5.29～4年 以内に終了する 会計年度のうち最 終のものに関する 定時評議員会の 終結の時まで	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p>	
<p>1. 作成について</p> <p>授業計画書(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科・コースの担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p>	
<p>2. 公表の時期について</p> <p>年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集、反映させたいうえで、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにホームページを通じて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校法人大原学園ホームページにて公開している</p> <p>URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、学内の成績評価・履修・卒業要件を規定している。成績評価は、各授業科目の定期試験・効果測定・課題提出等により行っている。なお、学生に対しては学生便覧を用いて周知を図っている。

◆学則より抜粋◆

(試験等)

第19条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。

2. 本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等ややむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

(学業成績)

第20条 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。

2. 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりG P (Grade-Point) を与える。

(単位の授与)

第21条 各科目の成績で、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。

(他の大学・専修学校等における授業科目の履修等)

第22条 教育上有益と認めるときは、校長の認めるところにより、他の大学・専修学校における授業科目の履修を、本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2. 前項により本校専門課程における授業科目の履修とみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、本校専門課程の修了に必要な単位数の2分の1を超えないものとする。

(修了・卒業の認定)

第23条 第20条に定める授業科目の成績評価に基づいて、課程修了の認定を行う。

2. 校長は、本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

(1) ホテル観光学科 1, 700時間

(進級)

第24条 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

◆学生便覧より抜粋◆

1. 進級について

各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の進級に必要な授業科目および単位数を修得したと認められた場合、進級できる。

2. 卒業について

各課程・学科の修行年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者等宛に通知する。

4. 授業について

全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (GradePointAverage) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標についてはホームページで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

◆学生便覧より抜粋◆

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、「秀・優・良・可・不可」の5種で判定し、「秀・優・良・可」を合格（認定）とし「不可」は不合格（不許可）とする。また、授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP (Grade-Point) を与える。

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績を修めている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績を修めている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0

- (2) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「秀・優・良・可」を取得した学生には所定の単位を与える。
- (3) 学校が必要と認めた場合に限り、追試験または再試験などを実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
- (4) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

客観的な指標の算出方法の公表方法

学校法人大原学園ホームページにて公開している
URL : <https://www.o-hara.ac.jp/about/joho>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では、学則に教育目的として「ホテル・観光・運輸並びにこれに関連する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを目的とする。」を掲げて教育を行っています。

ツーリズム産業に関する専門的な知識、接客する上での専門的な技能を養成するとともに、社会人として求められる基礎力、思考、言動についてもバランスよく身につけた人材を育成すること、また、社会全体、各産業界における課題を見つけ出し、自らもその一員としての自覚を持ち貢献できる人材を育成することを目的として教育カリキュラムを編成し、指導に当たっています。

上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めホームページに公開しています。

- (1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識、技能を身につけている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身につけるために自ら学ぶ姿勢を身につけている。
- (4) 他者と協力し、物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身につけている。また、卒業要件については、学則に規定するとともに、学生便覧において学生に周知している。

◆学則より抜粋◆

(修了・卒業の認定)

第23条 第20条に定める授業科目の成績評価に基づいて、課程修了の認定を行う。

2. 校長は、本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

- (1) ホテル観光学科 1,700 時間

◆学生便覧より抜粋◆

2. 卒業について

各課程・学科の修行年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科（1 年制コース、日本語学科を除く）を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。
- (4) 欠席累計が 100 日（その他欠席や休学日数を含む）に達した者は卒業できない。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校法人大原学園ホームページにて公開している
URL : <https://www.o-hara.ac.jp/about/joho>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人大原学園ホームページにて公開している https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務 専門課程	ホテル観光学科 ホテルコース ホテルフロントコース テーマパークホテルコース レストラン&バーテンダーコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間	900 単位時間	1,365 単位時間	420 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	87人	37人	7人	7人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ㈱ミリアルリゾートホテルズ、㈱帝国ホテル、㈱森ビルホスピタリティコーポレーション、 ㈱ブライトンコーポレーション、㈱強羅花壇、㈱グランドニッコー東京、㈱セルリアンタワー 東急ホテル、三井不動産リゾートマネジメント㈱			
（就職指導内容） 就職ガイダンスや学内業界研究セミナー等において、職業観、就労意識の形成・向上させ、 履歴書やエントリーシートの作成レクチャーや個別相談を行っている。また、就職試験対策 として、適性検査、就職模擬試験（筆記試験）模擬面接を実施している。			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) レストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、観光英語検定、TOEIC</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	2 人	4.4%
<p>(中途退学の主な理由) 精神疾患、経済状況の変化</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子 (出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等) をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、クラス担当等設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務 専門課程	ホテル観光学科 ウェディングコース ウェディングプランナーコース ドレススタイリストコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間	1,195 単位時間	1,220 単位時間	180 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		24人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)
（主な就職、業界等） ㈱曾我、㈱LIFE CREATE、㈱マザー・レストランツ			
（就職指導内容） 就職ガイダンスや学内業界研究セミナー等において、職業観、就労意識の形成・向上させ、履歴書やエントリーシートの作成レクチャーや個別相談を行っている。また、就職試験対策として、適性検査、就職模擬試験（筆記試験）模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、メイクアップ知識検定、ブライダルコーディネーター技能検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、クラス担当等設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務 専門課程	ホテル観光学科 鉄道・交通コース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間	820 単位時間	1,550 単位時間	—	—	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		45人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 東海旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、京成電鉄(株)、東急電鉄(株)、京王電鉄(株)、伊豆急行(株)、東武ステーションサービス(株)、京浜急行バス(株)			
（就職指導内容） 就職ガイダンスや学内業界研究セミナー等において、職業観、就労意識の形成・向上させ、履歴書やエントリーシートの作成レクチャーや個別相談を行っている。また、就職試験対策として、適性検査、就職模擬試験（筆記試験）模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 旅行業務取扱管理者（国内、総合）、サービス介助士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	4 人	12.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神疾患、経済状況の変化		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、クラス担当等設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務 専門課程	ホテル観光学科 トラベルコース ツアーコンダクターコース トラベルカウンターコース ツアープランナーコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間	850 単位時間	1,430 単位時間	—	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		22人	4人	7人	6人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ㈱JTB、TCB観光㈱、㈱ホテル三日月／ホテル三日月グループ			
（就職指導内容） 就職ガイダンスや学内業界研究セミナー等において、職業観、就労意識の形成・向上させ、履歴書やエントリーシートの作成レクチャーや個別相談を行っている。また、就職試験対策として、適性検査、就職模擬試験（筆記試験）模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 旅行業務取扱管理者（国内、総合）、国内旅程管理主任者			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 経済状況の変化		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等)をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、クラス担当等設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ホテル観光学科 ホテルコース ホテルフロントコース テーマパークホテルコース レストラン&バーテンダーコース	200,000円	680,000円	600,000円	
ホテル観光学科 ウェディングコース ウェディングプランナーコース ドレススタイリストコース	200,000円	680,000円	600,000円	
ホテル観光学科 鉄道・交通コース	200,000円	680,000円	400,000円	
ホテル観光学科 トラベルコース ツアーコンダクターコース トラベルカウンターコース ツアープランナーコース	200,000円	680,000円	400,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 毎年、自己評価の結果については報告書をホームページに公開している URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行い もって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出 来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校 関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果につい ては、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善 を図る。 学校関係者 (参画委員) (1) 専攻分野に関する企業等 (2) 卒業生、高校関係者、地域住民等 主な評価項目 (1) 教育理念・目標 (6) 教育環境 (2) 学校運営 (7) 学生の受け入れ募集 (3) 教育活動 (8) 財務 (4) 学修成果 (9) 法令等の順守 (5) 学生支援 (10) 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般財団法人日本ホテル教育センター 事業部 事業部長	2024.4.1～2026.3.31	業界団体
東武ステーションホテル 料飲・宴会支配人	2024.4.1～2026.3.31	企業
株式会社八芳園 八芳園プロデュース事業部 総支配人室 サブマネージャー	2024.4.1～2026.3.31	企業
公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 事務局長	2024.4.1～2026.3.31	業界団体
株式会社 JTB 営業第三課 課長	2024.4.1～2026.3.31	企業
一般社団法人日本旅行業協会 広報室長	2024.4.1～2026.3.31	業界団体
東急株式会社 都市開発本部 渋谷開発事業部 開発計画グループ 統括部長	2024.4.1～2026.3.31	企業
公益財団法人日本ケアフィット共育機構 理事事務局長	2024.4.1～2026.3.31	業界団体
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 毎年、学校関係者評価の結果については報告書をホームページに公開している URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校の情報公開 URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310100107
学校名 (〇〇大学 等)	東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人大原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		17 人 (0人)	13 人 (0人)	17 人 (0人)
内 訳	第Ⅰ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅱ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅲ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0 人	0 人	
区分外 (多子世帯)	0 人	0 人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0 人 (0人)
合計 (年間)				17 人 (0人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 <small>短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）</small>		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 <small>（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当）</small>	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	-人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	-人	-人
計	0人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	-人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	-人	-人
計	0人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。